


1

第62回放送教育研究会全国大会 全放連基調提案



全国放送教育研究会連盟 研究推進部長
田端 芳恵
(目黒区立下目黒小学校)

2

大会テーマ

ネットワーク社会における
メディアとヒューマンコミュニケーション

全放連研究テーマ

人間力をはぐくみ 未来を拓く 放送学習

デジタル放送時代における放送学習の在り方を日々の実践を通して明らかにし、その成果を全国に広げていく

3

人間力をはぐくみ 未来を拓く 放送学習

人間力 「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」 文部科学省 人間力戦略会議

未来を拓く

豊かな学力・生きる力

知的能力的要素 (思考力、判断力、課題設定力)
生きる力 (基礎力、学習力、読解力、表現力)
社会・対人関係的要素 (基礎力、コミュニケーション力、読解力、表現力)
身体・体力的要素 (基礎力、運動能力、健康力、読解力、表現力)

4

教育の情報化と放送教育

地上デジタル放送

教育現場におけるICT環境の充実
高画質・高音質な番組が活用できる

深い感動、興味・関心の高まり
日常的な活用、多様な学習課題への対応

番組・動画教材が簡単に活用できる

NHKデジタル教材

情報機器
インターネット環境
大型テレビ

5

放送番組の教材としての特性

「番組」には作品性・ストーリー性がある

最新の豊富な情報 → 情報活用能力の伸長

問題追究の視点
論理的な構成 → 思考力・活用力の伸長
技能の習得 表現力の育成
基礎・基本の定着

心を動かす(感動)情報 → 豊かな心の育成

優れた教材性

- 興味・関心を高める
- 思考を深める・練り上げる
- 豊かな心を育む
- 情報活用能力を伸ばす など

6

放送教育の伝統的な教育観

教師は 個々のとらえ方や理解の仕方を大切にす

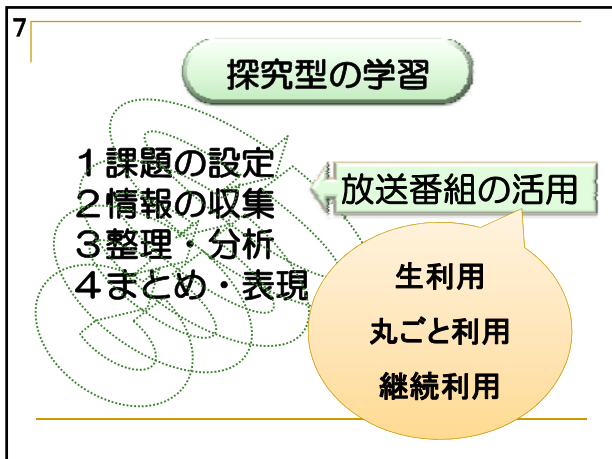
子ども自身が問題をとらえ、見通しをもって解決を図る

学習者(子ども)を主体にした教育

知識を獲得する → 多様な考えが大切にされる

子どもは 感動をスタートとした学習

探究型の学習



8

生きる力を培う放送学習（1年次）の取り組み

研究の目的

現在の教育課題に
応えて放送番組を
活用した学習を通
して学習者一人一
人の生きる力を培
う

これまでのプロジェクト
研究の成果を実践
的に検証していく
と共に、放送教育
のよさを全国に広
げていく

9

全放連とブロック・地方研究会

- 全放連からの発信
 - 全国大会
 - *ブロックからの実践提案
 - *全国大会で得た知見を各ブロックへ
 - 放送教育ネットワーク（Website）
 - 「月刊 視聴覚教育」での広報
 - リーフレット，報告書の作成 等
- 各ブロック・地方研究会での活動
 - ブロック大会・地方大会
 - *積み上げられた実践のさらなる深化
 - *実践を通じた研究交流
 - 全国事務局長会議・理事会での交流

10

本大会では 番組別研究・研修会とテーマ別研究交流会

○デジタル放送時代における保育や学習に
おける多様な番組活用の仕方

↓

放送学習の新たな可能性を探る

○本年度の新番組についての実践的な検討

11

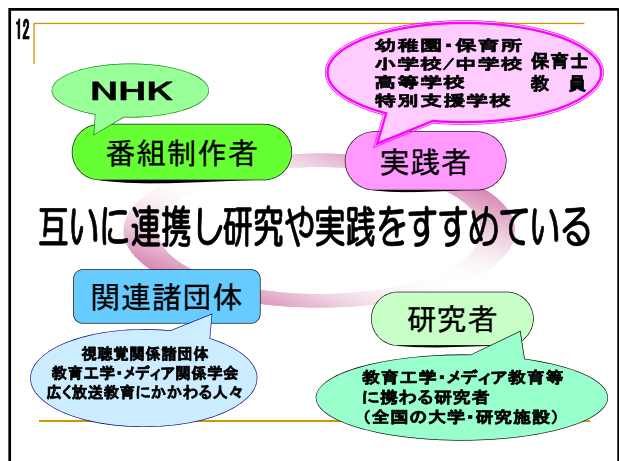
本大会では 番組別研究・研修会とテーマ別研究交流会

視点

- 放送番組の教材性
- 放送教育の教育理念
- ご自身の教育実践

□教育課題
□メディア環境

□実践者・制作者・研究者それぞれの立場
で活発な意見交流を！



13

大会のまとめ

これからの放送教育の可能性と課題

番組別研究・研修会、テーマ別研究交流会での様子を交えながらそれぞれのお立場から放送教育の未来を語っていただきます。

稲垣 忠	東北学院大学准教授
木原 俊行	大阪教育大学教授
中橋 雄	武蔵大学教授
堀田 博史	園田学園女子大学教授

14

